

事業所名

多機能型事業所いくま

いくま児童発達支援 支援プログラム

作成日

令和7年

2月

13日

法人（事業所）理念		利用者の意思及び人格を尊重して、常に利用者の立場に立った適切かつ効果的な支援の提供を行う。					
支援方針		個々の特性を活かしつつ個別や集団の療育活動を行い体と心の成長を支援する。 多職種が連携することで安全でより良い療育支援の提供を目指す。					
営業時間		8 時	30 分から	17 時	15 分まで	送迎実施の有無	あり ※要相談
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	日々、ご家族からの申し送りをもとに健康観察とバイタルチェックで体調を把握し、医療的ケアをはじめとした必要な対応を確実に実施する。 健康で心地よい、安全な生活が送れるよう環境整備に努める。 生活を通して食事、排泄、睡眠などの基本的な生活リズムを身につけると共に、個々の特性に応じて生活動作などの身体機能訓練を行う。					
	運動・感覚	様々な遊びを通して感覚に働きかけたり、経験を積み重ねていくことで身体的、精神的な発達を促していく。 個々の特性に応じた安楽な姿勢の確保、また、医療的ケア児に対しては、スムーズな排泄が行えるように姿勢を整えるなど楽しく活動に参加できるようにポジショニングを行う。					
	認知・行動	活動をはじめ物事の開始前には、環境や使用する道具を示して具体的性を高めていき興味や関心につながるよう支援する。 パターン化した流れが繰り返される中で「すること」がイメージでき、見通しが持てるよう支援する。					
	言語 コミュニケーション	個々の特性に応じた様々な方法（表情、発声、動作など）によって気持ちの表現を促す。また、表現された気持ちに共感や予想することで代弁したり、表現と意味の定着を目指していく。					
	人間関係 社会性	職員とのふれあいやコミュニケーションを通して信頼関係が築けるよう支援していく。 活動や生活を共にする中でお友だちを意識する機会を持ちながら楽しく活動できるよう支援する。					
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・日常的な申し送りや連絡ノートでのお知らせで情報の共有を図る。 ・定期的な面談を通して子育てや支援の相互理解や統一を図る。 ・参観日や行事への参加を呼び掛け保護者の集う場、交流の場とする。 		移行支援		保護者に対して就学に向けての説明や情報を提供。必要書類の作成。 教育委員会や就学先、相談員との連携（情報交換や共有など）。	
地域支援・地域連携		担当相談員や併用の事業所などの関係機関と連絡をとり、時には合同支援会議を開催するなど保護者の思いに寄り添った支援の統一を図る。		職員の質の向上		職員の内部、外部への各種研修会への参加。 支援を振り返り改善点や反省点などを話し合う職員会を実施。	
主な行事等		・誕生日会・参観日・屋外活動・クリスマス会・成人式・育了式					